backlog by nulab

メンバーとの認識のズレ

をなくす

マネジメントのヒント



多くのプロジェクト現場の声に耳を傾けると、
下記のような課題が共通して見えてきました

お悩み

マネジメント業務において、「胃がキリキリした」出来事

一生懸命やってくれているものの、
期待している方向と
ピントがズレていて対応に悩む。



部下が目標に
向いていない。

メンバーとの目線が合わないことに悩む声が多数。
その大きな要因のひとつは、情報の非対称性です。

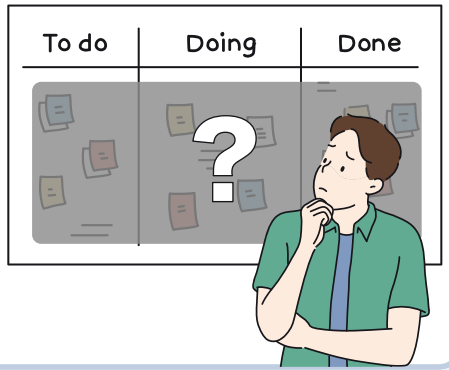
© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

なぜメンバーとの「認識のズレ」が起きてしまうのか？
― 情報の非対称性と見えないプロセスの罠 ―

認識のズレが発生する根本的な原因は、マネージャーとメンバーの間で『情報の非対称性』が生まれていることにあります。

現状

背景や経緯が見えない「ブラックボックス化」状態



問題点

- 結果を見るまで進捗がわからない
- 指示の意図や「文脈」が伝わらない



セルフチェック

- 締め切り直前や形になってから初めてズレや遅れが発覚する
- 最新の状況を把握するために、毎回個別にチャットや口頭で確認しなければならない

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

認識のズレを未然に防ぐ「マネジメントのパラダイムシフト」

個別の確認作業をなくし、チーム全員が「同じ情報・同じ文脈」を リアルタイムに共有できる仕組みを構築する

進捗のリアルタイム可視化



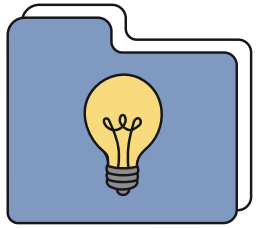
- 立場を超えて全員が全体の進捗をひと目で把握し、情報の非対称性を解消する

意思決定プロセスの可視化



- 「なぜこの進め方になったか」の経緯を記録として残し、認識のズレを根本から防ぐ

組織の共通指針の標準化



- 目標・手順・過去の経緯を一箇所に集約し、全員が常に同じ共通認識で動ける状態を作る

次のページから、Backlogを活用した解決のヒントをご紹介します！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「Backlog」とは？

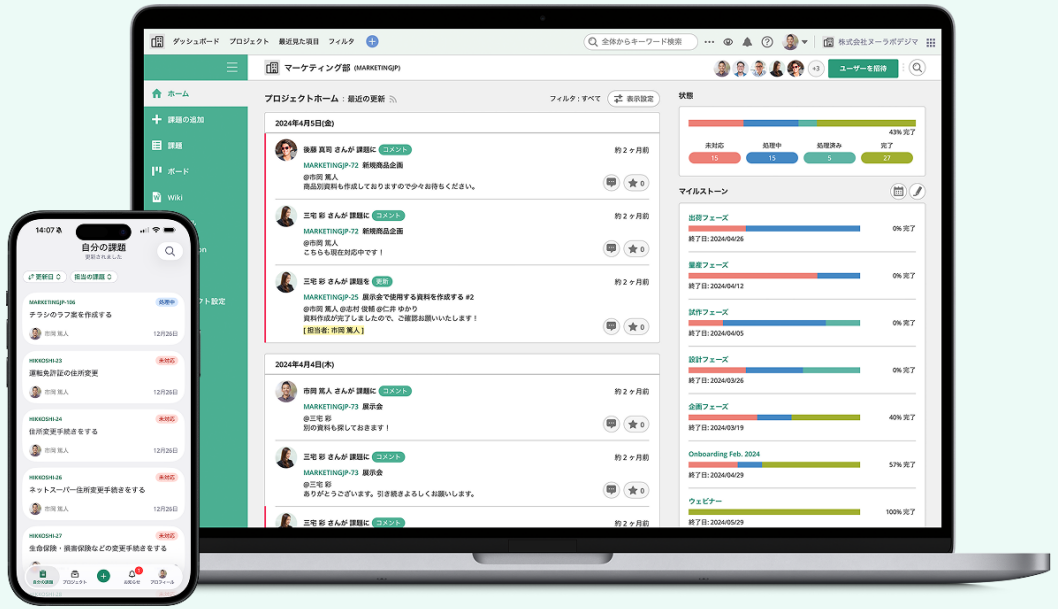
チームのタスクを可視化しコミュニケーションを促進する、
プロジェクト・タスク管理ツールです。

Backlogの特長

シンプルな操作性
直感的なインターフェースで誰でも簡単に使いこなせます

親しみやすいUI
使いやすさを重視した“仕事が楽しくなる”デザイン

チームで働くすべての人に
チーム全体の業務やタスクを可視化し、情報を一元管理できる多彩な機能



backlog by nulab

主な用途

- プロジェクト管理
- タスク管理
- バージョン管理
- ナレッジ共有

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 1　ガントチャートで状況をリアルタイムに可視化

使用する機能：「課題」「ガントチャート」



- 担当者、期限、タスク内容を「課題」として明確に登録できます

- 「課題」を登録すると自動的に「ガントチャート」が生成され、状況をリアルタイムで確認できるようになります

部門を超えてプロジェクト・タスク状況を可視化することで
「情報の非対称性」が解消され、連携が促進されます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 2　コメント機能でやりとりを可視化

使用する機能：「コメント」



- Backlog内でタスクに紐づく形で
  可視化できます
- 「なぜこの進め方になったのか？」といった
  経緯を残すことができます。
- タスクの変更履歴も残るため、
  いつ・誰が・何をしたのか一目でわかります

タスクやプロジェクトがどのように進んだかの経緯や文脈を可視化できるため、
情報の非対称性が解消され、認識のズレを防ぐことができます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 3　マニュアルや資料を一元管理する

使用する機能：「ドキュメント」「ファイル」



- ドキュメントやファイルに業務手順やマニュアルを集約し、チームのナレッジを一箇所で管理できます
- 情報が蓄積されることで、担当者の異動や退職があっても、スムーズに業務を引き継ぐことができます

チームの目標や指針を共有しておくことで、
チームメンバー全員が共通認識で仕事を進められます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 4　AI活用で簡単に情報収集

使用する機能：「Backlog AIアシスタント」



Backlog AIアシスタントに質問すると、
Backlogに蓄積された情報から
必要なものを整理・要約して提示します

プロンプト例

- これまでのコメントの流れを整理して
- 決定事項と、次にやることを箇条書きにして
- この課題の背景と経緯を3行で教えて



Backlogに蓄積された情報を、AIが資産として活用できるようになります。
タスクの背景や経緯を素早く把握できるため、認識のズレを未然に防ぐことができます。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogのご案内



まずは
体験してみませんか？

30日間無料で試す



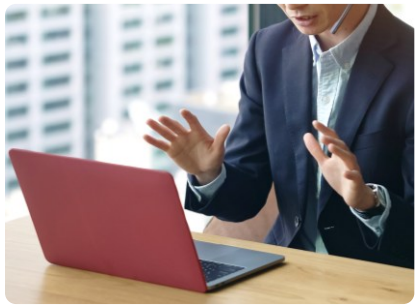
Backlogがわかる！
資料3点セット公開中

ダウンロードする



オンラインセミナー
開催中

セミナーに申し込む



オンライン個別相談も
可能です

個別相談を予約する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年 3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.